

同窓生が経営

大阪

株式会社しものファーム

小松菜を中心に、ほうれん草、菊菜など減農薬減化学肥料栽培を行い、甘みのある味にこだわった栽培をしています。環境保全型農業にも取り組んでおり、「大阪エコ農産物『泉州さかい育ち』」の認証を受け、「堺産農産物『堺のめぐみ』」の地産地消の推進にも取り組んでいます。学校給食・大手スーパーに卸していますので、皆様の食卓に並んでいるかもしれません。地元小学校との食育にも協力しており、消費者の方々と交流イベントも実施しています。

Information

〒599-8248
大阪府堺市中区深井畑山町86-1

大募集!

同窓生やお店を紹介したい!
自薦・他薦を問わず大募集!!



入試・広報課まで
メールお待ちしております!
nyushi@shitennoji.ac.jp

代表取締役
霜野 要規さん

文学部 言語文化学科
英語英米文化専攻
1992年3月卒業

学校法人四天王寺学園 創立100周年記念事業募金

創立100周年を記念する事業に皆様のご支援をお願いいたします



本学園は創立以来、社会に貢献出来る人材の育成をめざし高等女学校時代から現在に至るまで、多くの卒業生を社会に送り出して参りました。四天王寺学園は、創立100周年を迎えるにあたり、「和のこころを未来へ」のスローガンのもと、先達が積み重ねてきたこれまでの100年の歴史を振り返りつつ、これからの未来の100年を見据えて、今まで

以上に、より一層社会から信頼され、期待される学校として、常に真摯に謙虚に学校教育の向上に努めて参ります。それ故、それを支える教育環境のさらなる充実を図るべく、100周年募金により一層のご賛同ご協力を賜り、募金を通じて学園の発展に寄与して頂きますようお願い申し上げます。

記念事業 計画の概要

- ①今後進むグローバル社会で活躍できる人材の育成、いわゆるグローバル教育の推進とそれに伴う各系列学校全てにおける教育環境の整備
- ②四天王寺学園全体(全系列校)の改修及び将来的に予想される改築による在校生のための有用な施設・設備の充実
- ③四天王寺学園全体(全系列校)の同窓生のための有用な施設の整備

募金目標額

3億円

募集対象

在校・在学生の保護者、卒業生、教職員、その他本事業に賛同いただける個人及び企業・法人など

募金金額について

【個人】1口5千円(何口でも可)
【法人・団体】1口の金額は特に定めておりません
※いずれも複数回のご寄付をして頂ければ幸いです

募集期間

令和5年 3月31日 まで

四天王寺学園創立100周年記念事業募金の趣意、寄付金のご案内、募金の方法などについては、同梱のリーフレットをご確認ください。

本学園への寄付金は税制上の優遇処置が受けられます。詳細は学校法人四天王寺学園100周年記念ホームページをご参照ください。

<https://www.shitennoji.ed.jp/100th/>



四天王寺大学同窓会公式ホームページ



「IBU NEWS」のバックナンバーはWEBからもご覧いただけます!
◀ QRコードからアクセス!



同窓会公式Facebook開設しました!



同窓会活動や在学生の活躍など最新情報をお届け!
ぜひフォローください!



IBU 四天王寺大学
INTERNATIONAL BUDDHIST UNIVERSITY
四天王寺大学短期大学部

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1
TEL.072-956-3181(代表) TEL.072-956-3183(入試・広報課直通)
E-mail. nyushi@shitennoji.ac.jp

四天王寺大学 検索
<https://www.shitennoji.ac.jp/ibu/>

四天王寺大学の“今”がわかる!

IBU NEWS

2022 NO.36

第63回
IBU祭

11月3日(木・祝)
同窓会総会、ホームカミングデー
3年ぶりに開催!

インタビュー

女優
竹原 芳子さん
(1980年3月卒業)
短期大学部 被服科

NEWS

令和4年度

IBU×FM802タイアップ企画

かりゆし 58が学生と共に
「学生へのエールソング」を制作!
大学祭最終日に初披露、
学生も一緒にパフォーマンス!

IBU TOPICS

教育学部 佐藤 美子 教授
「化学コミュニケーション賞2021」
審査員特別賞を受賞!

羽曳野市の魅力をアピールする
オリジナル「婚姻届・出生届」を
本学学生がデザイン!

J A大阪市とコラボ!
イタリア野菜「トレビス」を使った
新商品開発にライフデザイン学科生が協力!

IBU 四天王寺大学
INTERNATIONAL BUDDHIST UNIVERSITY
四天王寺大学短期大学部

和のこころを未来へ
100th
ANNIVERSARY 2022
四天王寺学園
四天王寺学園は
2022年に
創立100周年を
迎えました。

いくつになっても
 生きていようように、生きる。
 だって人生は奇跡やん！



インタビュー

女優 **竹原 芳子さん**
 (1980年3月卒業)

1960年大阪府生まれ。1979年度に四天王寺大学短期大学部 被服科を卒業。卒業後、証券会社に勤め、主任まで務める。40歳で裁判所事務官(臨時任用)に着任。47歳で落語を習い始め、その後、吉本NSCに入所。57歳で映画『カメラを止めるな!』、ドラマ『ルパンの娘』やバラエティ番組にも多数出演。2022年5月に、カンヌ国際映画祭のレッドカーペットに登場。唯一無二の存在感を放つ個性派俳優。現在フリーで活躍中。

2022.07.01 四天王寺大学同窓会特別企画
 『短期大学部卒業生 竹原芳子氏』講演会@大講堂

学生の皆さんがキラキラしていて
 私も元気をもらいました!

後輩となる短大生の皆さんの前で講演させていただくなんて、とても緊張しました。学生さんたちは本当に元気でハツラツとしていてすごくステキでした!こう見えても学生時代の私はおとなしく内気な性格だったので本当にうらやましい!しかも将来の目標がしっかり見えている人も多くて素晴らしいなと思いました。でも今、目標や夢が見えなくても気にしたらあかん!私みたいに50歳こえてやりたいことが見つかることもあるし、これから何が起るかわからないんやから。自分のことを信じ前に突き進んで欲しいです。



PREMIUM INTERVIEW



周囲の助言を聞いていた私。
 でも好きなように生きたい!

—— 竹原さんの人生、山あり谷ありと伺っていますが、今振り返ってみてどう感じていますか?

確かに人生でこぼこ道でした。卒業後は証券会社に入社して営業に励み、40歳からは裁判所で臨時の事務官

として働きました。この時代は自分で選んだ人生なのに、ほぼ周囲の助言を受け入れて、それに従って行動していたように思います。たとえ自分が逆の決断をしたくても諦めていたかと。ある時、自分の話しがうまく伝わっていないことを痛感し、話し方教室に通うようになりまして。そして、先生から『落語は話の基本』と教わったのが落語との出会いですね。落語の魅力は何と言っても表現力の豊かさ。私でも、子どもにもお母さんにもおっちゃんにもなれるんだと。どハマりしました。でも落語家って、3年間弟子入りしなくちゃいけないんですね。それなら役者だ!って今の道に進み始めたんです。人生っておもしろいですよね。本当に何が起るかわからない(笑)。



コンプレックスさえ
 私の人生の味方に。

—— これまでのご経験で学ばれたことを教えてください。

ありのままの自分を受け入れて、自分を認めて好きになってあげることが大事だと気づいた時、本当に幸せになれるんだなと思いました。私だって昔はコンプレックスの塊で、子供の時は母親に『なんでもっと男前の人と結婚せえへんかったんよ!』と詰めよったことがあるくらい(笑)。でも今はそのおかげでお仕事をいただいています。『カメラを止めるな!』の監督には『そのままがいい』と言われたのがよかった

自分のことを認めて好きになる。
 若い頃からできたら最強!

ですね。自分の内面を受け入れること、もとても大事だと思います。社会に出ると周囲を気にしたり、自分のやりたいことができなかったりする人が多いでしょうし、私もそうでした。でも本当は何をやりたいのか、何が楽しいのか、自分に聞いてみて、その通りに行動すると幸せが待っていたりするんですよ。皆さんも自分のために人生を歩んでください!

日々のできごと感謝する。
 それが楽しく過ごす
 秘訣です!

最後に人生の先輩としてアドバイスをください。

今あるすべてが奇跡なんだなって思うと、何でも楽しめるなって思うんです。『生きていくっていいな!』って、だから日常の小さなことにも感謝して楽しく過ごしてください。織田信長の時代は人生50年だったけど、今の時代は人生100年!とんないことが起っても意味のないことはないんだから、明るい未来が待っているとワクワクして楽しんで欲しい。そして自分のことを精一杯好きになって欲しいです。



CASE 01

おもてなしのところで、日本の魅力を世界へ発信!

最高のおもてなしを追求し、お客様に感動を届けたい。

JALのグランドスタッフとして羽田空港で勤務をしており、搭乗口案内やチェックインカウンターの特等手荷物の責任者をし、お客様の安全な空の旅をサポートしています。2021年からはヒューマンサービス部門のキャプテンに任命され、JALグループのサービス力強化に向けて人材教育やイベント企画を行っております。イベントではバレンタインデーにお客様へメッセージカードとチョコレートをプレゼントしたり、クリスマス時期には手荷物タグのデザインを社内で募集しクリスマス仕様の手荷物タグを作成したり、「JALに乗ってよかった」「またJALで旅をしたい」と感じていただけるよう、心に残るおもてなしを日々追求しております。ヒューマンサービス部門のキャプテンの任期は1年で終わりますが、今後もグランドスタッフとしてキャリアアップをめざし、下の世代を牽引しながらチーム全員でサービス力を強化していきます。また、コロナ禍によって厳しい状況に立たされていた航空業界ではありますが、昨今は徐々に空港利用者が戻りつつあり復調の兆しがみえています。今後は外国人の旅行者も増えていくことが予想されますので、日本を代表する航空会社としての誇りを持って、手厚いおもてなしときめ細やかなサービスで日本の魅力を発信していきます。

株式会社JALスカイ

上野 莉菜さん

人文社会学部
国際キャリア学科

2016年
3月
卒業



同窓生の“今”を知る — GRADUATES INTERVIEW

CASE 02

フリーアナウンサーとして 自由なステージで、自分らしく。

生涯現役で「話すことの楽しさ」「夢を諦めない大切さ」を伝えたい。

小学校の文集に「将来の夢はアナウンサー」と書いており、在学時は短大から大学に編入して教養を積み、就職活動で局アナ試験を全国行脚しました。残念ながら新卒採用とはなりませんでした。その後も夢を諦めず、関西の大手芸能事務所に所属してレッスンを受けながらテレビ・ラジオ・MCなどの経験を積みました。2005年には鳥取の山陰放送へ契約アナウンサーとして勤務し、念願だったニュースや情報番組などを担当することができました。その後は関西の事務所に戻り、ABC朝日放送の契約アナウンサーをはじめ、在阪各局でキャスターやリポーター、ナレーター、司会のお仕事を続ける中で「もっと仕事の幅を広げたい!」とフリーランスへ転身しました。今年で7年目になりますが、今まで以上に人脈も活躍の場も広がったと実感しております。現在はアナウンサーの仕事だけでなくイベントの企画まで幅広くする一方、プロをめざす人向けのアナウンス講座を開いたり、企業・学校・カルチャーセンターなどで「伝わる話し方講座」の講師をしています。また母校でも式典の司会や日本学科で特別講義などをさせて頂いています。今後も生涯現役をめざしながら、たくさんの方に夢を諦めないことや、話すことの楽しさを伝えられたらと思っています。

1998年
3月
卒業

オフィスMIYO代表・フリーアナウンサー

松浦 美代さん

文学部
教育学科

IBU TOPICS

四天王寺大学の活動やイベントなど、「今」を伝える最新情報をご紹介します!

※学生の学年表記は、取材時(2021年度)のものです。

01 教育学部 佐藤 美子教授 「化学コミュニケーション賞2021」審査員特別賞を受賞!



一般社団法人 日本化学連合主催「化学コミュニケーション賞2021」において、教育学部 教育学科 佐藤美子教授が「審査員特別賞」を受賞しました。化学コミュニケーション賞は、化学・化学技術に関連する啓発・普及活動を通じて、化学・化学技術に対する社会の理解を深めることに貢献している個人および団体に授与される賞で、『個別実験で共に楽しみ科学の芽を育む地域活動』の功績が認められ、個人部門での受賞となりました。佐藤教授は「長年にわたり、小さな子どもから高校生まで、さまざまな年齢の子どもたちと実験講座で接してきました。「できた!」「わかった!」「おもしろい!」そんな参加者の声を聴くと、私も一緒に活動する本学学生たちも幸せな気持ちになります。子どもたちの科学の芽を育み、将来さまざまな分野で活躍してくれることを願って、これからも続けていきたいと思っています。」と受賞の喜びを話しました。



02 羽曳野市の魅力をアピールするオリジナル「婚姻届・出生届」を本学学生がデザイン

結婚、出産という人生の大きな節目を迎えられる方を祝福し、心に残る生涯の良き思い出となるような、オリジナルデザインの婚姻届・出生届を作成するにあたり、羽曳野市から依頼を受け学内で公募。応募総数、婚姻届44作品、出生届25作品の中から、婚姻届は、経営学部経営学科企業経営専攻3年 三輪亜梨沙さん、出生届は、経営

学部経営学科公共経営専攻1年 土岸凜音さんの作品が選ばれました。それぞれ学生の自由な発想から生まれた、羽曳野市の長所を活かしたデザインとなっています。また、2021年12月22日(水)に羽曳野市役所にて山入端 創市長による表彰式が執り行われました。

03 JA大阪市とコラボ! 「トレビス」を使った商品化に協力

JA大阪市から依頼を受け、短期大学部 生活ナビゲーション学科の谷口ゼミに所属する2年生18名が、大阪市内で生産されているイタリア野菜「トレビス」を使った商品化のネーミングとパッケージデザインを担当しました。「大阪生まれのトレビスリゾット」の商品名で、限定3,000個販売され、早々に完売となるヒット商品に!商品開発から販売までを実践的に経験する貴重な機会をいただきました。また、JA大阪市から商品化に協力した本学学生に感謝状と記念品が贈呈されました。



04 羽曳野市ボトルドウォーターを本学学生がデザイン

2016年に完成した石川浄水場の清浄で安定した水質をPRする目的で、羽曳野市からボトルドウォーターのオリジナルデザイン作成の依頼を受け学内で公募。教育学部4年 山本紗矢香さんの作品が最優秀作品に選ばれました。羽曳野市役所で2022年3月17日(木)に山入端創市長による表彰式が執り行われました。



05 羽曳野警察署管内のぼり旗を本学学生がデザイン

羽曳野警察署から「安全・安心まちづくりの日」の周知に活用する「のぼり旗」デザインの依頼があり、学内公募の結果、教育学部4年 谷口綾梧さんのデザインが採用され、2022年3月10日(木)に表彰

式が執り行われました。公益社団法人 大阪府防犯協会連合会が毎月11日「安全・安心まちづくりの日」の啓発広報のため募集したもので、羽曳野警察署管内で、谷口さんのデザインしたのぼり旗が設置されます。





SCHEDULE

11/3^{木祝}・4^金・5^土

令和4年11月3日(木・祝)～5日(土)に第63回大学祭(IBU祭)を開催いたします。テーマは「結～むすぶ～」。大学祭運営委員会を中心として、課外活動団体、多くの在学生が開催に向けて準備、企画・運営を行っています。今年是在学生だけでなく、3年ぶりに同窓生をはじめ地域の皆様や子どもたちにも大いに楽しんで頂きたく、たくさんのイベント企画をご用意しています。お気軽にご参加ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大などの状況を鑑みて、内容が変更となる場合があります。



11/5^土 Special Live

学校法人四天王寺学園 創立100周年 大学記念事業
IBU×FM802タイアップ企画

かりゆし58がIBU生と一緒に創る「学生へのエールソング」初披露!

大学記念事業の取り組みのひとつとして、ラジオ局FM802とタッグを組み、本学学生が若者の代表としての想いをつくり、かりゆし58がその想いを題材として「学生へのエールソング」を制作!IBU祭の最終日に初披露!学生と一緒に初パフォーマンス!!お見逃しなく!!



四天王寺大学同窓会
会長 森田 貴夫

会長からのご挨拶

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、皆さまにはさまざまなご苦労の日々をお過ごしのことと存じます。キャンパスには日常の学生生活が戻りつつ、対面授業や課外活動が再開されました。また7月1日(金)には四天王寺大学同窓会主催として、後輩となる短期大学部生を対象に「短期大学部卒業生の竹原芳子氏 講演会」を開催し、竹原氏のこれまでの歩みと共に、笑いあり、涙あり、学生の記憶に残る講演

会となりました。その模様は本誌に掲載しておりますので、是非ご一読ください。そして2022年、学校法人四天王寺学園は創立100周年を迎えました。われわれの母校、四天王寺大学でも100周年を記念してさまざまな事業に取り組んでおりますので、そちらも注目ください。また3年ぶりの開催を予定している同窓会総会、ホームカミングデーで皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

学長からのご挨拶

2022年、学校法人四天王寺学園は創立100周年を迎えました。1400年以上前に聖徳太子の説かれた「和の精神」は、しっかりと本学の教育の中心に受け継がれています。昨年、コロナ禍の下、社会環境の変革に伴って教育のICT化を推進し、新たな社会との接続に向けて、数理・データサイエンスをはじめとする教育の改善・質の向上をめざす「高等教育推進センター」を設置しました。今年は、教育・医療・福祉な

どさまざまな分野で連携し、地域社会のさらなる発展をめざす「地域連携推進センター」を設置しました。学生が実践的な学びを通して地域と共に成長し、多くの人、モノ、コトと出会い、かけがえのないつながりが生まれる学びのきっかけを提供しつつ、「和のこころを未来へ」繋ぐ新たな第一歩を踏み出して参ります。今後とも同窓会活動に対するご支援を賜りますよう、何卒よろしくご願ひ申し上げます。



四天王寺大学
四天王寺大学大学院
四天王寺大学短期大学部
学長 須原 祥二

令和3年度の主な事業内容

- 4月
- 新入生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
 - 学生100円朝食補助(夏学期分)【100円朝食支援】

- 5月
- 教育・研究活動等支援【教育・研究活動等支援事業】(学校備品等の寄贈、課外活動支援)

- 7月
- 同窓会役員会開催【同窓会総会等開催事業】(案件:事業報告・事業計画 等)
 - 在学生への支援【奨学金事業(奨学金)】(大学4名、短大1名 計5名 150万円(年間))
 - 東京2020大会オリンピック(案件:学生ボランティア派遣費用補助)

- 9月
- 同窓会会報誌(IBU-NEWS)発行・送付【同窓会会報発行事業】
 - 学生100円朝食補助(冬学期分)【100円朝食支援】

- 11月
- 同窓会総会を書面決議にて実施【同窓会総会等開催事業】(案件:事業報告・事業計画、令和2年度会計報告等)
 - ホームカミングデー、懇親会を中止【同窓会総会等開催事業】

- 3月
- 卒業生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
 - 在学生への支援【団体報奨金(会長表彰)】
- その他母校の発展に寄与する事業

SCHEDULE

令和4年度 第12回 四天王寺大学同窓会

11/3^{木祝}

「ホームカミングデー」
「同窓会総会」を開催

令和4年11月3日(木・祝)の第63回大学祭(IBU祭)と同日、第12回 四天王寺大学同窓会総会、ホームカミングデーを開催いたします。3年ぶりの開催となりますが、恩師との再会や旧友とも仲を温め、先輩と後輩が語り合える交流サロンを実施します。たくさんの卒業生の皆様とお会いできることを楽しみにしています。

※新型コロナウイルス感染症拡大などの状況を鑑みて、内容が変更となる場合があります。



※写真は2019年度開催の様子です。

お問い合わせ 同窓会事務局(入試・広報課) TEL. 072-956-3183

WEBサイト 四天王寺大学 同窓会公式サイト
https://www.shitennoji.ac.jp/ibu/grad_ass/



令和4年度の主な事業計画・事業内容(案)

- 4月
- 新入生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
 - 学生100円朝食補助(夏学期分)【100円朝食支援】

- 6月
- 同窓会役員会開催【同窓会総会等開催事業】(案件:事業報告・事業計画 等)

- 7月
- 『短期大学部卒業生 竹原芳子氏』講演会 開催
 - 在学生への支援【奨学金事業(奨学金)】

- 9月
- 同窓会会報誌(IBU-NEWS)発行・送付【同窓会会報発行事業】
 - 学生100円朝食補助(冬学期分)【100円朝食支援】
 - 教育・研究活動等支援【教育・研究活動等支援事業】(学校備品等の寄贈、課外活動支援)

- 11月
- 同窓会総会の開催【同窓会総会等開催事業】(案件:事業報告・事業計画、令和3年度会計報告等)
 - ホームカミングデーの開催、懇親会の開催【同窓会総会等開催事業】
 - 学校法人四天王寺学園 創立100周年記念事業

- 3月
- 卒業生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
 - 在学生への支援【団体報奨金(会長表彰)】

その他母校の発展に寄与する事業

同窓会事業報告

○学位授与式、入学式で記念品贈呈

2022年3月14日(月)、理事長をはじめ学長等の出席のもと、学位授与式が行われ、栄える学位を授与され、祝福されました。同窓会からは副会長の原田一臣氏が祝辞を述べ、新しい旅立ちを迎えた後輩たちをお祝いました。また同窓会から記念品として卒業生全員に学位記カバーを寄贈しました。同年4月1日(金)には入学式が行われ、同窓会を代表し副会長の原田一臣氏から新入生にエールが送られ、新入生への記念品として恒例の念珠を贈呈しました。



○100円朝食を引き続き実施

2016年度に同窓会の支援により学生に朝食を食べる習慣を身につけてもらうことを目的にはじまった「100円朝食」の取り組みは、コロナ禍のため昨年度より提供を再開しました。学生の皆さんの生活習慣を大切に、勉学や課外活動にチャレンジする健康な学生生活を応援しています。



○同窓会報奨金給付式

2021年度、昨年に引き続きコロナ禍で課外活動を休止せざるを得ない期間もありましたが、顕著な課外活動をした「書道部」「バスケットボール部男子」「ストリートダンス部」の3団体に表彰状と報奨金が授与されました。「書道部」は、大学祭での和太鼓部とのコラボパフォーマンスを披露し、部員個々ではさまざまな書道大会へ出展し、推薦賞・準特選賞・優秀賞などを獲得しました。「バスケットボール部男子」は、各種大会に積極的に参加し、2021年度関西学生バスケットボールリーグ戦で4部優勝を果たし、2022年度より3部リーグ昇格を果たしました。「ストリートダンス部」は、コロナ禍で部員獲得が困難な中、大学祭への積極的な参加と、昼休みライブの企画および複数回パフォーマンスを披露し、20名以上の新入部員を獲得しました。これら3団体の皆さんには、今後の益々の活躍を期待します。

○学生のための生活支援品を寄贈

学生が安心・安全に学生生活を送れるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた手指消毒のオートディスペンサーを、また再開した課外活動などへの支援として、防風ネット、折り畳み担架、車いすを寄贈しました。



同窓会活動報告はこちらから▶

QRコードからアクセスしてWEBでご覧いただけます。

